

環境報告書（第二回）

第80期(H16年度・16.5/21～17.5/20)

平成17年5月30日
環境管理責任者

当社足立生産センターにおける環境マネジメントシステム(EMS)の状況について一年に一度5月に報告をさせていただきます。昨年の報告は初回でもあり、ISO14001の認証取得経過を中心に報告をいたしました。今回は取得後一年間のEMSの活動経過を、目的・目標を中心に報告いたします。また、2004年版への移行は本年中を目途に実施する予定です。

■ 主な活動経過

年月日	活動内容
H.16.5	《環境マニュアル》第三版を制定
H.16.9	緊急時対応：サイト内全従業員参加のもと、火災予防・避難・消火訓練実施 内部監査実施 第一回維持審査受審(認証継続確認)
H.16.10	著しい環境側面等定時見直し実施
H.17.2	内部監査実施
H.17.5	第二回維持審査受審(認証継続確認)
H.16.5～ H.17.5	環境委員会を計7回開催

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	用紙投入量に対する損紙率を3年で20%低減する(初年度10%)べく、環境マネジメントプログラム及び作業手順書等を定め活動したが、作業の小ロット化など基本的な低減活動にマイナスの変化が生じ、目標数値は未達成となった。今後は損紙を低減可能損紙部分に焦点を絞り、活動の成果を見ていきたい。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	製品にならない生産活動を削減(損紙率の低減)する。また消灯・冷暖房温度管理をも含め、環境マネジメントプログラムで印刷単位あたりのエネルギーコスト削減活動を実施した結果、目標数値をクリアすることが出来た。但し、今までの使用料金を基準とするのでは他の変動要因も大きいので、次年度からは使用量を削減目標にして行きたい。